

2024 年度 英文誌「ジャーナルコンサルティング」募集要項

ジャーナルの国際的な発信力と競争力を維持さらに強化するためには、発行機関自らによる「ジャーナルの質向上」に関する取り組みが不可欠です。また、J-STAGE は以前よりオープンアクセスを推進してきましたが、2025 年度から公的資金による研究成果論文の即時オープンアクセスが義務づけられることになり、J-STAGE 掲載誌においてもオープンアクセス誌への転換はより重要な課題となってきています。J-STAGE は、2017 年度より、このような掲載誌の質向上に向けた取り組み、また、オープンアクセス誌への転換を支援するため、学術出版を専門とする海外のコンサルタントによる「ジャーナルコンサルティング」を実施してきました。2020 年度は、オープンアクセス誌のホワイトリストとして国際的に認知されている DOAJ (Directory of Open Access Journals) への掲載を統一的な目標とし、2021 年度からは、多様なジャーナルの課題に応じた改善のため、DOAJ 掲載コースのほか、ジャーナルインパクトファクター取得コースやマーケティング計画コースなど、複数のコースを設定し、それぞれのジャーナルの状況に応じたコンサルティングを提供しています。

2024 年度の英文誌を対象としたジャーナルコンサルティングは、2021 年度以降とおおむね同様に、10 のコースを設定して実施します。

つきましては、2024 年度 英文誌「ジャーナルコンサルティング」に参加するジャーナルを募集します。以下の募集要項を熟読のうえ、応募につきご検討のほどお願い申し上げます。

■ 応募について

「ジャーナルコンサルティング」への参加にあたっては、ジャーナル改善活動に中心的に従事いただきますジャーナル編集委員長（あるいは、それに準じる方）に相応の時間やエフォートを割いていただく必要があり、また、それをサポートするジャーナル編集事務局などの体制も重要になります。また、ジャーナル発行機関（学協会）においても、ジャーナル改善活動の進む方向性に向けたコンセンサスや意欲がもとめられます。JST の実施するジャーナルコンサルティングは、事前に設定した一定の課題・テーマについて、コンサルティング期間中（2024 年度中）に一定の成果を得ることをめざして、発行機関がジャーナル改善活動を実施するものです。コンサルティングはあくまで助言の提供であって、それをうけて主体的にジャーナル改善活動を実施するのは発行機関になります。また、発行機関が随時バラバラに質問するあるいは助言をもとめるといった性格のものでもありません。ついては、ジャーナル改善活動に前向きに取り組めるか、編集委員会、編集事務局、学協会の体制などについて問題がないかを十分にご勘案のうえ、応募を検討いただきたくお願い申し上げます。さらに実際の応募にあたっては、かならずジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）ご自身がこの募集要項を熟読し理解いただき了解したうえでの応募としてください。

なお、ジャーナルコンサルティング自体は無料で費用はかかりません。ただし、ジャーナル改善活動においてウェブサイト改修の必要が生じた場合など、付随する費用は発行機関の負担になります。

■ 応募対象

- ・ **J-STAGE** で定期的に刊行されている英文誌、もしくは、**J-STAGE** 発行機関により **J-STAGE** 掲載誌として新規創刊が計画されている英文誌
会議論文・要旨集、研究報告・技術報告、解説誌・一般情報誌、その他の資料を除く
アーカイブ誌（誌名変更や廃刊などで刊行を中止しているジャーナル）を除く
J-STAGE 以外のプラットフォームを DOI ランディング先としている資料を除く
- ・ ジャーナルコンサルティングは、オープンアクセス誌（OA 誌）化（※）が前提となります。すでに OA 誌化している、もしくは、発行機関として OA 誌への転換を進める計画があること
- ・ これまでにジャーナルコンサルティングに参加したことのあるジャーナルも応募が可能です。ただし、ジャーナルコンサルティングをうけての OA 誌化と投稿規程改訂およびウェブサイト公開が完了していることが必須
- ・ 応募を受け付けるのは、和文誌とあわせ、1 発行機関につき 1 誌のみとなります

※ **J-STAGE** では、**DOAJ** など国際的なオープンアクセスの定義にもとづき、以下の条件をともに満たすジャーナルを「オープンアクセス誌」（OA 誌）としています

- ・ 公衆に開かれたインターネット上で出版と同時に無料で本文にアクセスできる
- ・ 二次利用の範囲や条件が CC ライセンスなどにより明示されている

なお、OA 誌化にあたり出版コストをまかなう方法については、著者の支払う論文掲載料（Article Processing Charge : APC）による、学協会など発行機関あるいは大学・研究機関などの出版元が負担する、助成団体などから支援を受ける など、特には問わない

また、英文誌のジャーナルコンサルティングは英語のみ、和文誌のジャーナルコンサルティングは日本語のみについて実施します。和英混合誌の場合はいずれかを選択いただくこととなりますが、その場合たとえば、投稿規程やウェブサイトが英語と日本語の両方ある場合であっても、コンサルティングの対象となるのはいずれか一方のみとなります

■ 実施の概要

1. 実施内容：コンサルティングは、ステップ A とステップ B の 2 つから構成されます

1) ステップ A：ジャーナル診断

ジャーナルはコンサルタントの提示する質問表に回答する。コンサルタントはその回答およびジャーナルウェブサイトなどにもとづいてジャーナルの現状を診断し、ジャーナルに対し課題を整理・提示する

2) ステップ B：ジャーナル改善活動

ジャーナル診断の結果に応じ、また、コンサルタントの助言をうけ、ジャーナルは設定された 10 のコースから実施するコースを 1 つ選択する（各コースの詳細は[こちら](#)）。ジャーナルはコンサルティング期間中、選択したコースについて計画的にジャーナル

改善活動を進める。ジャーナルが選択・実施できるのは原則として1コースのみ、また、ジャーナル診断の結果により、必ずしも応募の際に希望したコースを選択できるわけではありません

2. 実施期間（予定）：2024年5月～2025年3月

※ 原則として2024年度をもってコンサルティングは終了しますが、コースおよび発行機関の個別事情や進捗状況を勘案したうえ、実施中のコースを完了するため2025年度フォローアップコースへの参加をJSTから推奨することがあります（フォローアップコースの実施は未確定、また、参加誌はごく限られます）。その場合、コンサルティング期間は通算2年となりますが、コンサルティングに新たな内容が追加されることはありません。また、2025年度のフォローアップコースへの参加を前提としての応募は不可です

3. 実施機関：JSTが委託するコンサルタント（コンサルティング会社）

4. 支援方法：おもにメールによるヒアリング・情報提供、必要に応じウェブミーティングによるコミュニケーションも可

5. 言語：英語

6. JSTへの報告：発行機関には以下の報告をお願いします。なお、実施成果の公表のため、発行機関名・ジャーナル名を匿名化および要約したかたちで一般公開させていただく場合があります

- ・中間報告書および最終報告書の提出
- ・ジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）とJSTとのウェブミーティング（コンサルティングの開始時、中間報告書の提出時、その他JSTが必要としたとき）
- ・コンサルティング終了ののちの改善活動につき情報提供（終了から5年間・年1回）

7. 応募方法：以下のURLより応募ください

https://form2.jst.go.jp/s/journalconsulting_english_2024

8. 応募締切：2024年5月24日（金）→5月31日（金）※募集期間を延長しました

9. 審査・選考：応募に対しJSTにて審査・選考を実施します。応募いただいても参加いただけない可能性がありますこと、あらかじめご承知おきください

以上